



限界へ挑む 鉄人レース ～関東学生トライアスロン～

6月24日、今年で21回目となる関東学生トライアスロン選手権が戸田調整池で開催されました。2022年の栃木国体において本市での開催が内定しているトライアスロン。本市ともゆかりの深いこの競技に地元の人たちも熱い声援を送っていました。1.5kmのスイムの後に待つ自転車レースでは、落車で痛々しい傷を負った選手も。過酷なレースを完走した選手たちは達成感に満ちていました。



1 スイム後は休む間もなくバイクのスタート地点へ 2 30度を超えたこの日は給水所が重要箇所 3 地元の皆さんにより巻狩鍋が振る舞われた 4 チームメイトに最後のエールを送る 5 優勝を決めた感動のゴール



農業の将来に夢と希望を ～農業委員会意見交換会～

将来の農業を担う人材の育成や、農業に対する幅広い意見を集約することを目的とした市農業委員会と那須拓陽高校の生徒7人による意見交換会が7月12日に那須拓陽高校で行われました。

生徒それぞれが持つ「農業の将来」に向けた不安や希望に対して、経験豊富な農業委員が的確にアドバイス。活発な意見交換会終了後の生徒の表情は、頭の中のモヤモヤがすっきりしたのか希望に満ち溢れ、イキイキとしていました。



今後もおもてなしの充実を誓って ～栃木DCグランドフィナーレ～

4月から6月、本県では19年ぶりとなったJRグループの大型観光企画「栃木デスティネーションキャンペーン(栃木DC)」。そのフィナーレを飾るイベントが6月30日、那須塩原駅前で開催され、多くの家族連れや観光関係者で賑わいました。

来年も同じく4～6月にかけて、アフターDCが展開されます。引き続き首都圏からの観光誘客に向けて、地域が一体となり取り組んでいく決意を感じさせる締めくくりとなりました。



02 那須野農業協同組合と包括連携協定を締結しました

市と那須野農業協同組合が、地方創生の推進や地域社会経済の継続的発展を目的とし、お互いの知恵と情報、人材、技術を活用してさまざまな分野で連携・協力していくための包括連携協定を結びました。

今後、農畜産物のさらなるブランド化や農業担い手の育成、観光振興、移住定住促進など、広範囲の連携した取り組みを進めていきます。

▼問い合わせ
 ○企画政策課 ☎0287(62)7106



04 日本遺産を活用していくために ～日本遺産活用推進協議会を設立～

5月に日本遺産として認定された、那須野が原開拓ストーリー「明治貴族が描いた未来」が那須野が原開拓浪漫譚。これを地域・観光振興に活用していくための推進協議会が設立され、6月20日に市役所本庁舎で設立総会が開催されました。会議には共同で日本遺産申請をした4市町の首長をはじめ関係者が出席。既存の観光地と平野部との回遊性を高め魅力向上を図るなどの方針を確認しました。

▼問い合わせ
 ○商工観光課 ☎0287(37)5419



01 子育て中のあなたに贈る一冊 ～「子育て情報マップ」配布～

忙しい子育て世代のために、地域おこし協力隊の沼崎隊員と市内在住の17人のママが一緒に作った「子育て情報マップ」。子連れでも気兼ねなく行ける店舗情報などを掲載しています。希望者には次の場所で配布します。

▼配布場所 本シティプロモーション課、移住促進センター、図書館で支援課、菅根出張所

※配布は一人一冊です。

▼問い合わせ 本シティプロモーション課 ☎0287(62)7128



03 まちなか交流センターと(仮称)駅前図書館の愛称が決定

現在黒磯駅前に建設中の「まちなか交流センター」と「(仮称)駅前図書館」の愛称が決まりました。

・交流センター…みるる
 ・図書館…みるる

※全国から376件の応募があり、市内在住の大野結花さんが最優秀賞に選ばれ、その授賞式が7月24日に行われました。

▼問い合わせ
 ○商工観光課 ☎0287(62)7154